

## 第18回 芝富士地区まちづくり協議会 議事要旨

### (1) 日時

平成26年9月12日(金) 午後6時30分～9時00分

### (2) 場所

芝富士公民館 1階ホール

### (3) 出欠者(会員数12名)

- ・会 員：11名(欠席者1名)
- ・事務局：川口市5名、(株)首都圏総合計画研究所3名

### (4) 議事次第

- 1) 開会
- 2) 協議会の進め方
- 3) 各分科会の進め方
- 4) その他
- 5) 閉会

#### 【配布資料】

- ・次第
- ・資料1：協議会の進め方(案)
- ・資料2：各分科会の進め方(案)



▲当日の意見交換の様子



▲資料の説明の様子

(5) 議事概要 (○：協議会会員、→：事務局)

1) 開会

2) 協議会の進め方

< (1) 分科会の設置、テーマ >

- ：②災害対策は両方の分科会に含まれているが、一つの分科会にしぼったほうが良いのではないか。
- ：災害対策は道路にも公園にも関連するので両方の分科会で扱って良いと考えている。
- ：中途半端になるのが心配である。基本的には道路で話し合っ、その内容を公園で受ける、としたほうが良いかと思っただ、了承した。
- ：避難路を考えた場合、緑道はどうするのか。用水路としてとらえた場合、雨水対策に不可欠であろう。
- ：道路分科会で良いかと思うが、いかがだろうか。
- ：異議なし。
- ：④市有地の活用、⑤空家・街路灯、⑦まちづくり憲章について、協議会で話し合うという方針だが、これらは地域住民にも分かりやすいテーマなので、これらのテーマを公募で扱ったほうが良いのではないか。
- ：のちほど話し合いたい。

< (2) イメージ >

- ：分科会の位置づけが不明瞭である。意見を集約して協議会に答申し、協議会はそれらを元に話し合う決定機関という位置づけで良いのだろうか。それならば、④市有地の活用、⑤空家・街路灯、⑦まちづくり憲章だけを協議会で話し合うことは違和感がある。これらについても分科会で話し合わないとアンバランスではないか。
- ：行政としては向き合っ、進めていくのは協議会である。その点は地区計画を検討してきたこれまでと同様である。つまり、道路や公園に関する案ができれば、協議会から市が受け取り、検討することになる。  
協議会の下部組織が分科会なので、協議会は分科会で話し合っ、内容を確認する位置づけになると思う。分科会で扱うべきテーマはたくさんあるかもしれないが、優先順位をつけて取り組まなければならない。まずは道路と公園を先に検討し、他にあれば今後行っ、と良いのではないか。
- ：今後の分科会はスピード感を大切にしたい。新たなメンバーを加えると、また一から勉強をする必要も生じるので、公募はせずにこの協議会のメンバーで分科会も行う。参加希望者が出た場合は、協議会に入ってもらい、分科会にも入ってもらっ。協議会に加えて分科会も行うと会議数が増えて、皆さんへの負担も大きくなるので、協議会の日に前半は協議会、後半は分科会としてみてはどうか。
- ：道路や公園は今のメンバーだけで話しても良いと思うが、④市有地の活用、⑤空家・街路灯、⑦まちづくり憲章については、地域の方の意見を伺っ、ほうが良いと思うので、全体会にメンバーを追加したほうが良いと思う。

- ：一人でも多くの人に意見を聞いたほうが活動をアピールすることができるし、良い方向にまちが動くと思う。広く呼び掛けて話し合う過程が大切だと思う。会議数が増えて大変とのことだったが、準備会にて、正副会長は分科会に出席しなくても良いのではないかという話はした。
- ：大々的な公募をしなくても町会と協働するという方向もあると思う。交通、防犯、衛生、自主防災などから少しずつ参加者を募り、意見を吸い上げると良いのではないか。
- ：人選については、地区計画の検討が一つのステップとして終了したところである。今後は次のステップとして、再度広く公募して人を集めたほうが良い。会議が増えることについては、分科会に協議会委員が全員入ることを義務としなければ良い。どうしても出席が難しければ欠席することも仕方ないだろう。これまでの協議会にて、欠席した委員を責めたことはない。個々人の都合の中で最大限まちづくりに協力すれば良いと思う。
- ：仮にメンバーを公募しても人が集まるだろうか。先日の説明会でも人は少なかった。公募しても集まらないと思うので先ほどの提案にあった、町会を巻き込むことは良いと思う。会長の提案と併せて考えると、公募はせずに基本的には今のメンバーのまま進めて、必要に応じて町会から意見を吸い上げるのはどうだろうか。
- ：公募して人がたくさん集まるとは思っていない。しかし、幅広く意見を伺おうとしている姿勢を示すことは大切だろう。それよりも、次第に入っていない会長の案は、緊急動議的なものとして受け止めて良いのか。
- ：提案としてお願いしたい。

#### <会長の提案>

- ・今後の分科会はスピード感を大切にしたい。新たなメンバーを加えると、また一から勉強をする必要も生じるので、公募はせずにこの協議会のメンバーで分科会も行う。
- ・分科会への参加希望者が出た場合は、協議会にも入ってもらう。
- ・協議会に加えて分科会も行うと会議数が増えて、皆さんへの負担も大きくなるので、協議会の日に前半は協議会、後半は分科会としてまとめて実施する。

- ：反対である。スピード感を持って進めることには賛成であるが、そのために重要になるのは会議の進め方だと思う。何を目的として会議を実施しているのかをはっきりさせて、毎回話し合いの成果を積み上げていくようにすれば良い。
- また、協議会が何をしているのかを地域に伝えることは大切であるが、協議会は物事を決める場なので、メンバーを増やす必要はないと思う。
- ：会長の仰るとおり、公募は大変だと思うので、先ほどの町会と協働するという方向が良いかもしれない。
- ：会長の意見は理解できるが、公募は必要だと思う。広く地域の意見を聞こうとしている姿勢を示すことは大切だと思う。
- ：分科会を設けると会議が増え、大変になると思うが、まちを良くするためなので、どうか頑張ってほしいと思う。

○：先ほどの提案は取り下げたいと思う。

#### < (3) 協議会会員の担当する分科会 >

○：正副会長は分科会に入らなくても良いと思う。その他の協議会員については、それぞれの分科会に3名以上入ったほうが良いと思う。兼任については、会議日程が重複することもあるので、賛成はできない。

○：公募する対象は町会および各種団体が良いと思う。また、それぞれの分科会について、協議会員が過半数以上とならないようにしたほうが良い。

○：分科会の位置づけを確認したいのだが、分科会は話し合いや意見を出し合う場であり、決定権はない会ということで良いか。

○：そのとおりである。

○：それならば分科会で公募をする際に、分科会は何かを決定する場ではないことを明示したほうが良い。また、議事の進め方については、好き勝手に話し合っても何もまとまらないと思うので、進行役として副会長に参加してもらってはどうか。

○：副会長に限定しなくても、協議会員から各分科会の代表者を選出すれば良いのではないか。

○：準備会に出席している人が各分科会の代表を務めたほうが都合が良いだろう。

○：たしかにそのとおりだと思う。準備会を踏まえて協議会を開催しているので、分科会には準備会のメンバーが一人は入るようにしたほうが良い。

○：分科会の内容は準備会で議論する内容でないので、必ずしも準備会メンバーが入る必要はないかと思う。もしも準備会メンバーが入ったほうが良いのであれば、正副会長以外のメンバーが別々の分科会に入るといった案はいかがか。

○：賛成である。

#### < (4) 分科会の会員の募集 >

○：公募をしてもおそらく集まらないと思うので、町会等を活用するというアイデアに賛成である。具体的にどこの団体に声をかけるかは、分科会で話して決めれば良いだろう。一方で、地域全体に公募を行うことは大切なので行ったほうが良い。

○：大勢集まり過ぎた場合は分科会で選抜させてもらうことになるだろう。

○：参加してほしい団体には直接声をかけてお願いすると良い。その他の公募については、1～2名も集まれば良いほうだろう。呼びかけは誰が行うのか。

○：会長名でお願いするのが筋だろう。

○：そのための資料を作るのは誰になるのか。事務局か。

→：できれば皆さんにお願いしたい。もちろん相談には乗らせていただく。

○：分科会に市は出席するのか。

→：記録の作成のために出席はする。それ以外は、できることとできないことがある。公募用チラシについて、大勢の場合は抽選になると思うが、過去の勉強会の際にも同様のチラシを配布しているのでそれを参照しておいてほしい。

○：チラシは準備会に一任していただけるか。

○：大勢集まった場合の対処についてはこの場で決めておきたい。

→：他地区ではこのような場合、応募の動機、お住いのエリアのバランス、年齢、性別を参考にして決めることがある。ただ、恣意的になるので難しいところである。過去は平等に抽選を行った。

○：「選考委員で決定します」と文言を追加しておけば良いと思う。

→：選考委員というものの自体、公平性の担保が難しい。

○：そもそも公平である必要があるのか。他地区のとおりで良いのではないか。

→：今度の準備会までに、どのような団体に声をかけるのか、人数をどの程度にするのか、を協議会員で決めておいてほしい。

○：了解した。

→：分科会の曜日と時間はどうするのか。

○：分科会ごとに決めれば良いと思うが、それは重要なのか。

→：時間帯によって参加の可否が変わるので、重要である。過去の勉強会では、週末の土日に開催するというような旨を記載してある。

○：平日の昼・夜、休日の昼・夜の4択だろう。

→：2つの分科会ができるだけ同じ日だと市としてはありがたい。

○：どの時間帯を希望するかを公募用チラシで聞いてみてはどうか。あらかじめ、こちらで時間帯を設定するのであれば、どんな方々に参加して欲しいのかによって変わるだろう。

○：検討会に参加する協議会員で話し合いつて準備会に諮りたい。

< (5) 分科会の役員 >

○：役員の確定はメンバーが揃ってからが良いと思う。

### 3) 閉会

#### ★決定事項

③第19回協議会は、平成26年12月9日（火）18時半～、芝富士公民館（ホール）で開催する。

以上